

様式第 1 号（第 6 条関係）

協働事業に関する提案書

令和 7 年 1 月 1 5 日

（あて先）狭山市長

団 体 名 一般社団法人 mama' s community
所 在 地 XXXXXXXXXX
代表者名 李 亜民

次のとおり、協働事業に関して提案します。

1 提案する協働事業	市民提案型協働事業
2 事業名	にじいろ体操教室
3 事業期間	令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 3 1 日
4 事業種別	☐ 単年度事業 ☒ 継続事業
5 事業予算	総額 430,000 円（内補助金申請額 215,000 円）
6 事業概要 ※100 字以内で簡潔に記入してください	発達凸凹児、障がいのあるお子さん、グレーゾーン、大病してリハビリ中のお子さんたちが、きょうだい児とその保護者が一緒に通える体操教室やイベントを開催
7 希望する担当課 ※不明の場合は未記入	福祉部 障がい者福祉課
8 添付書類	☒ 協働事業に関する企画書（様式第 2 号） ☒ 協働事業収支予算書（様式第 3 号） ☒ 協働事業実施スケジュール（様式第 4 号） ☒ 協働事業提案団体概要書（様式第 5 号）

様式第2号（第6条関係）

協働事業に関する企画書

団体名 一般社団法人 mama' s community

1 事業名	にじいろ体操教室
2 事業の詳細	発達凸凹さん、障がいのあるお子さん、グレーゾーンと呼ばれるお子さん、その保護者ときょうだい児が気兼ねなく参加できる体操教室とイベントを開催。 障がいのある子ども達が通える習い事が無く、健常児と同等に習い事へ通うのは非常にハードルが高い。 余暇活動を推奨されているが先が見えないのが現状。 障がいのある子ども達を育てる保護者の声を形にする活動を展開する。
3 実施体制	障がいのある子ども達を育てる保護者の方がスタッフとなり、狭山生活館3階ホールにて月に2回実施。
4 役割分担	【提案団体の役割】 障がいのある子ども達を育てる保護者の声を形にする。日常で困っている事、体験型のイベントになかなか参加出来ない事、余暇活動で受け入れ先がない課題などを解決する。
	【市の役割】 狭山市内の支援級や幼稚園、保育園へのリサーチと広報。
5 協働の効果	障がいのある子ども達を育てる保護者の生の声を、代表・李へ届ける事が出来る。 市が共に歩んでくれる事により、障がいのある子ども達を育てる沢山の家庭に情報が届きやすくなる。
6 事業のアピールポイント	障がいのある子ども達を育てる保護者の、困っている事の声を形に出来る。 1. 余暇活動、受け入れ先を作る 2. きょうだい児も一緒に通える習い事 3. 気兼ねなく通える場所を作る 4. 同じ様な環境の人たちとのコミュニティー作り 5. ママ達の憩いの場でもあり、働き場所 6. 情報共有が出来る場所